dreamio

Home Projector

EH-TW4000
EH-TW3000

取扱説明書

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の２冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

❶ 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート･サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。

❷ 取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

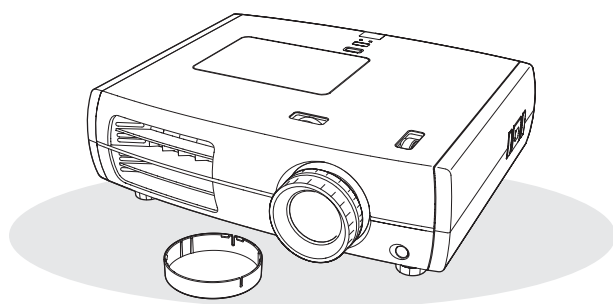
注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。 「付録 用語解説」をご覧ください。☞p.55
⏻ Menu など	リモコン、または操作パネルのボタンを示しています。
「(メニュー名) 」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「画質」→「カラーモード」
[(名 称)]	本機の接続端子名を示しています。 例:[Video]

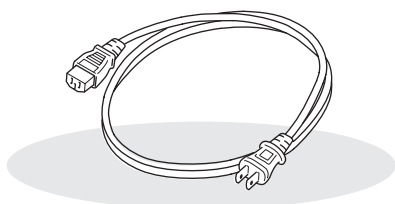
「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

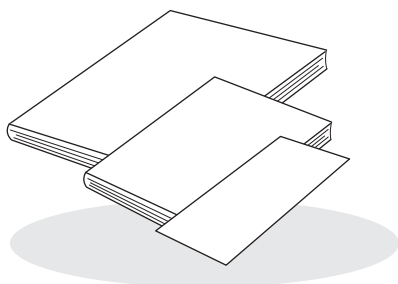
同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

❏ **プロジェクター本体(レンズカバー付属)**

❏ **リモコン**

❏ **電源ケーブル(日本国内用3.0m)**
本機と電源コンセントを接続します。

❏ **単3形アルカリ乾電池(2本)**
リモコンにセットして使います。

ドキュメント類

❏ **安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内**

❏ **取扱説明書**

❏ **保証書**

目 次

使い始めるまでの準備

基本操作

画質の調整

環境設定メニュー

困ったときに

付録

使い始めるまでの準備

基本操作

画質の調整

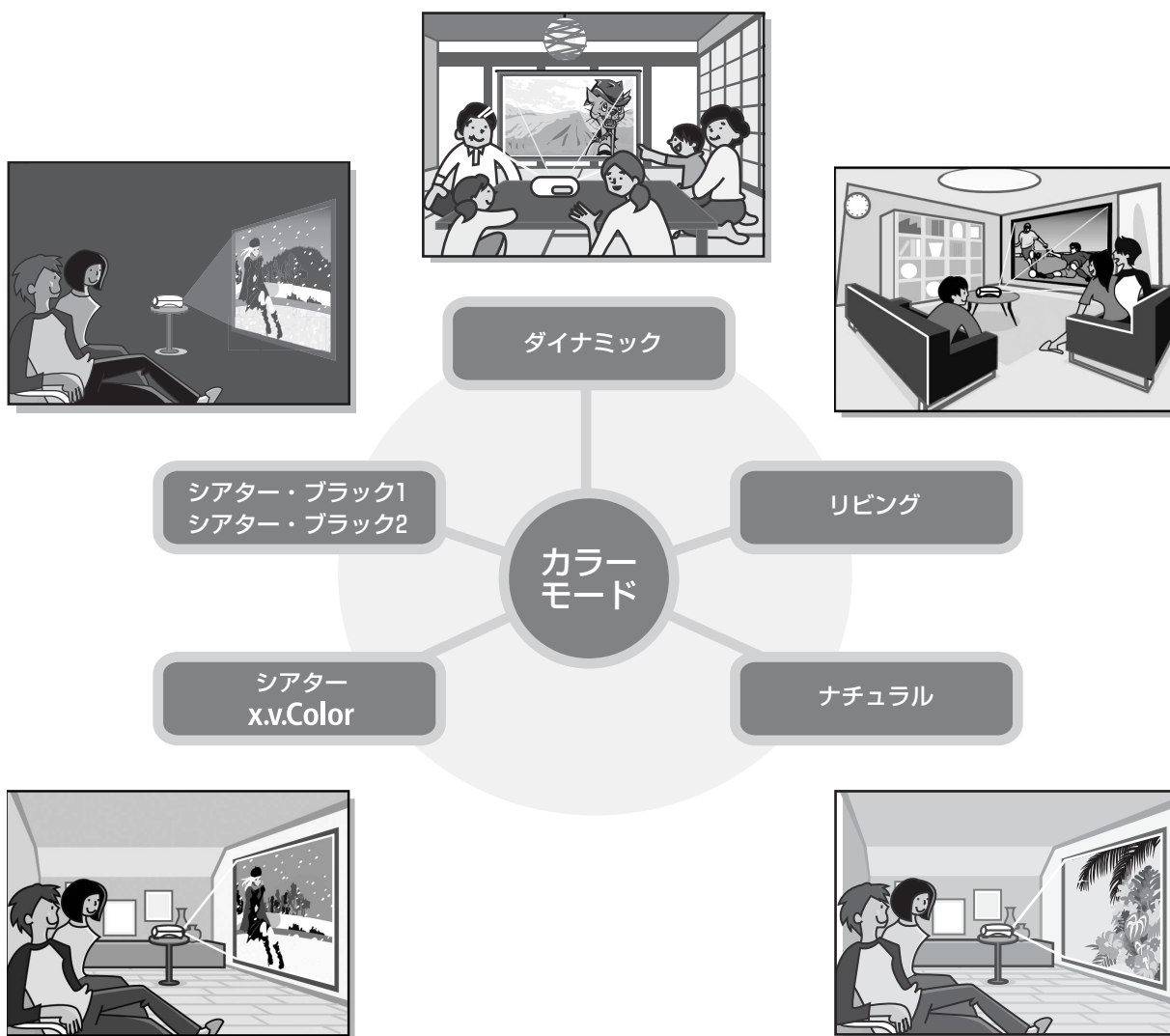
環境設定メニュー

困ったときに

付録

本機の特長

ご覧になるお部屋や映像に合わせた映り具合の選択（カラーモード）

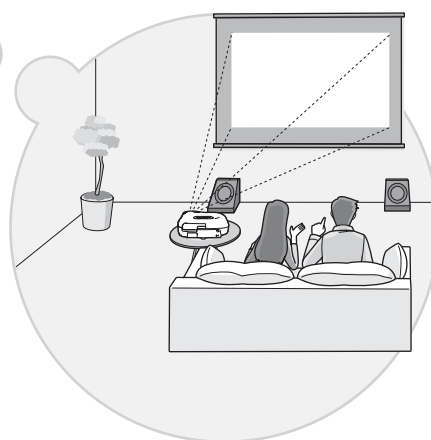
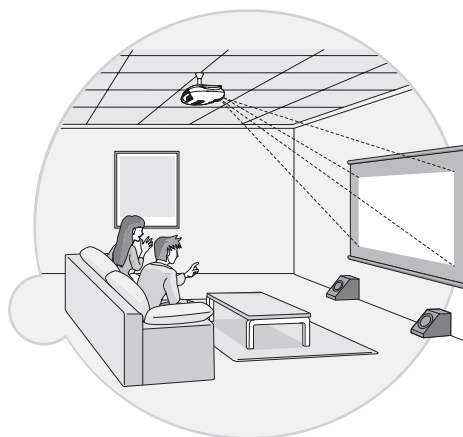
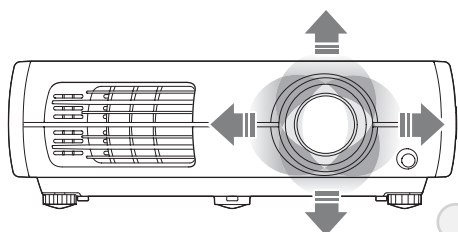
あらかじめ登録されている次の7つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。
「ナチュラル」「シアター」「x.v.Color」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。
p.18

より自然な色を再現できる「x.v.Color」モード

動画用広色域色空間の国際規格（xvYCC）に対応したモードです。
この規格に対応した機器からの広色域の動画映像を、より忠実に色を再現することで、自然で鮮明な色をお楽しみいただけます。p.18

こだわりの色調整

カラーモードに加え、お好みに合わせて映像の絶対色温度や肌の色を簡単に調整できます。さらに、ガンマ調整、RGB各色のオフセット・ゲインの調整、RGBCMY各色の色相・彩度・明度の調整を組み合わせて、映像に合わせた思い通りの色を実現できます。p.20

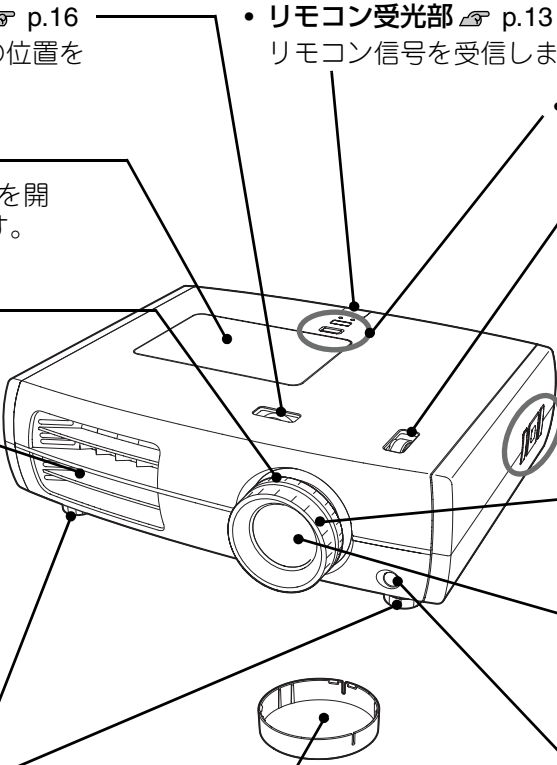
広角レンズシフト搭載

投写映像の位置を、映像をゆがめることなく上下・左右に調整できるレンズシフト機能を搭載。天吊りにしたり、スクリーンのサイドから投写したり設置場所を選びません。p.16

2.1倍短焦点ズームレンズ搭載

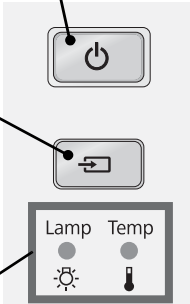
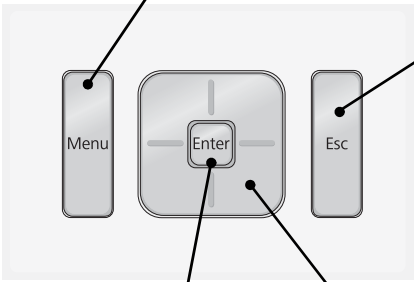
2.1倍短焦点ズームレンズ搭載しているので、6畳間で100型の大画面（16:9のスクリーンの場合）へ投写することもできます。p.10

高機能画質調整

「オートアイリス」や「シャープネス（アドバンスト）」などの高機能画質調整により、さらに鮮明な画質をお楽しみいただけます。オートアイリス機能をオンにすると、投写中の映像に合わせて光量を自動的に調整し、奥行きと深みのある映像を作り出します。シャープネス機能は、映像全体の調整だけでなく、髪の毛や衣服の模様など、特定の領域をくっきりと際立たせることもできます。p.23

映像に合わせて設定できる豊富な機能

その他にも、以下のような多彩な機能があります。

- 明るすぎが原因の白飛びを防ぐEPSON Super White p.35
- 動きの大きな映像や静止画などに合わせて選べるプログレッシブ変換 p.34
- ワイド映像をご覧いただけるアスペクト 機能 p.18
- 調整した結果を登録しておき、リモコンのボタンで簡単に呼び出すことができるメモリ機能 p.24
- 調整後、誤って操作しないようにする操作パネルロックや、お子様が誤って電源を入れてレンズをのぞかないようにするチャイルドロック設定 p.36

各部の名称と働き

前面 / 上面

本体操作パネル

説明のないボタンは、リモコンに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。

天面操作パネル

• 電源ボタン p.14, 15

• ソースボタン p.15
入力ソースを選択するメニューが表示され、映像を投写する入力ソースを切り替えられます。

Lamp　Temp

• 異常/警告インジケータ p.39
本機に発生した異常を色や点灯･点滅で示します。

側面操作パネル

• メニューボタン p.26

Menu　Enter　Esc

• Escボタン p.18, 20, 26

• エンター/ラインメニューボタン p.18, 24, 26

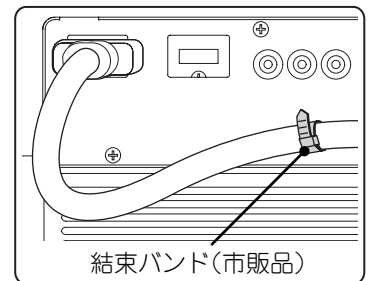
• ⊡ ボタン p.18, 20, 22, 26

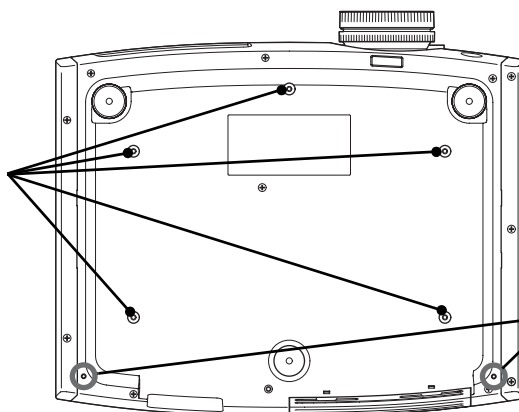
リモコン

• リモコン発光部 p.13
リモコン信号を出力します。
• 電源ボタン p.14, 15
プロジェクターの電源をオン/オフします。
ソースボタン p.15
各ボタンに表記された入力端子からの映像に切り替えます。
• 照光ボタン
暗がりでリモコンを操作するときに押すと、リモコン上のすべてのボタンが約10秒間光ります。
• Escボタン p.18, 20, 26
メニュー表示中に1つ上の階層に戻るときに押します。
• デフォルトボタン
環境設定メニューの調整画面が表示されているときに押すと、設定値が初期値に戻ります。
• ▲ ▼ ◀ ▶ ボタン p.18, 20, 22, 26
メニューの項目や調整値を選択するときに押します。
• エンター/ラインメニューボタン p.18, 24, 26
ラインメニューを表示します。
メニュー表示中はメニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。
• メニューボタン p.26
環境設定メニューのフルメニューを表示/終了します。
• メモリボタン p.24
メモリの登録･呼出･削除ができます。
• カラーモードボタン p.18
投写環境に応じてカラーモードを変更できます。
• RGBCMYボタン p.20
RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整できます。
• アスペクトボタン p.18
入力信号に応じてアスペクトを変更できます。
• ガンマボタン p.20
ガンマの調整ができます。
• シャープネスボタン p.23
シャープネスの調整ができます。
• パターンボタン p.17
テストパターンを表示/終了します。
• ブランクボタン p.26
映像を一時的に消す/映すを行います。
環境設定メニュー表示中に押すと、メニューを一時的に消す/映すことができます。
Source
HDMI 1
HDMI 2
Component
PC
S-Video
Video
Default
Esc
Enter
Line Menu
Menu
Memory
Color Mode
RGBCMY
Aspect
Gamma
Sharpness
Pattern
Blank
EPSON

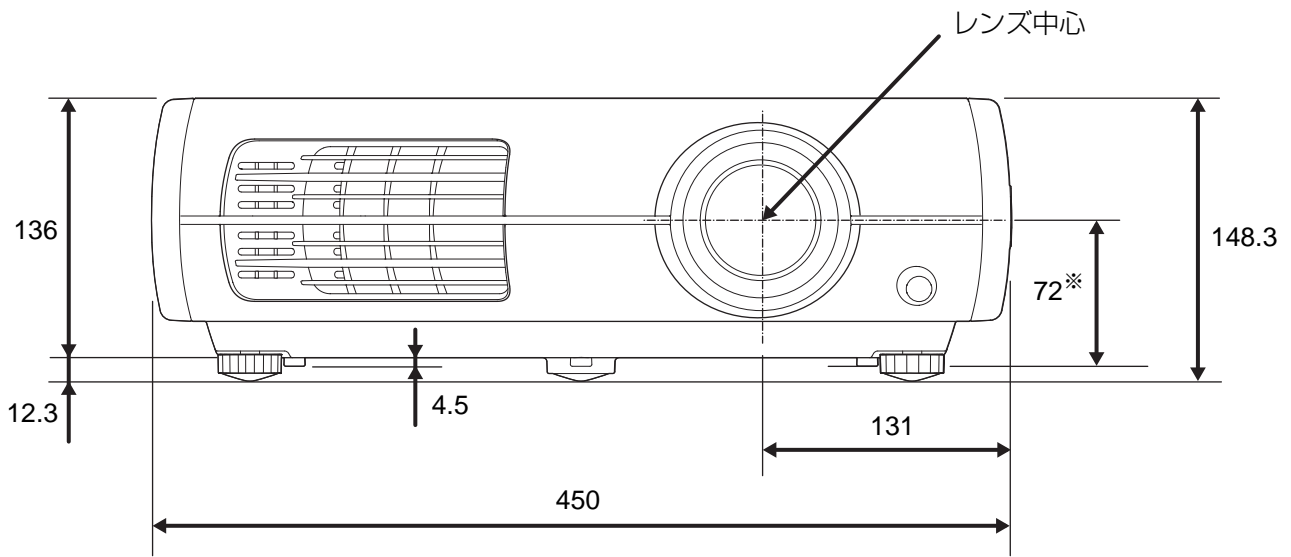
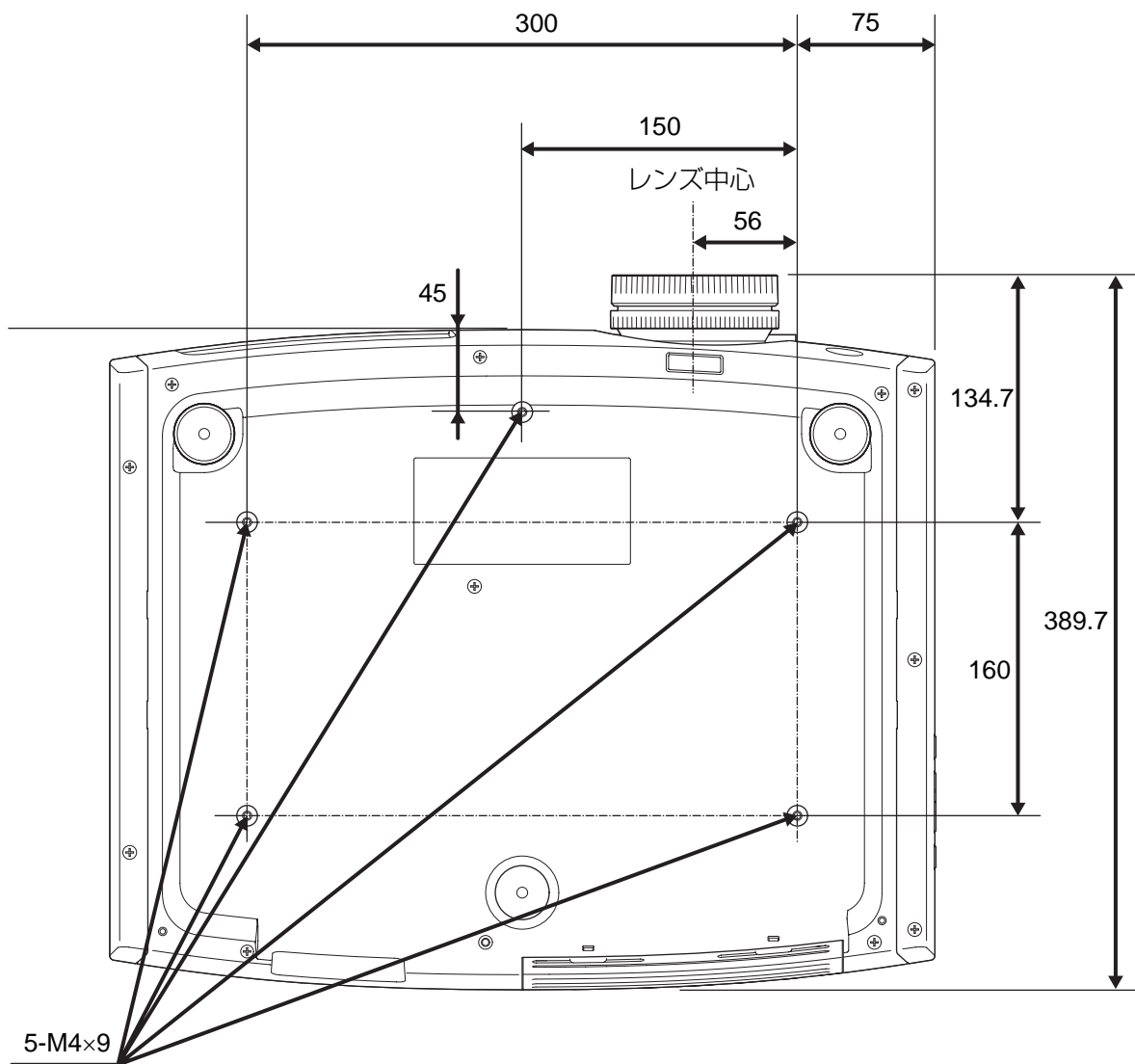
背面

- [S-Video]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器のS映像出力端子と接続します。
- [Video]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器の一般的な映像(コンポジットビデオ)出力端子と接続します。
- [HDMI1]入力端子 ☞ p.12
  HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータを接続します。
- [HDMI2]入力端子 ☞ p.12
  HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータを接続します。
- [Component]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器のコンポーネント(YCbCr や YPbPr)出力端子と接続します。
- 吸気口(エアーフィルタ) ☞ p.45, 48
  本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアーフィルタは定期的に清掃してください。
- [PC]入力端子 ☞ p.12
  コンピュータのRGB出力端子と接続します。
- [RS-232C]端子
  本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。
- ランプカバー開スイッチ ☞ p.48
  ランプカバーを開けるときに押します。
- [Trigger out]端子
  本機の電源が入っている間、この端子から信号(DC12V)が出力されます。本機の電源を切ったり、異常状態になると端子からの出力が0Vになり、本機の電源のオン/オフの状態を外部機器に伝えます。
- 盗難防止用ロック(🔒) ☞ p.56
- 主電源スイッチ ☞ p.14
- [電源]端子 ☞ p.14
  電源ケーブルを接続します。
- ケーブルホルダー
  外径の太いHDMIケーブルを入力端子に接続したときに、ケーブルが垂れ下がりケーブルの重さでコネクタの差し込みが不完全になることがあります。これを防ぐために市販の結束バンド(ケーブルタイ)をこのホルダーに通してケーブルを固定します。2箇所ありますので、固定しやすい方をお使いください。

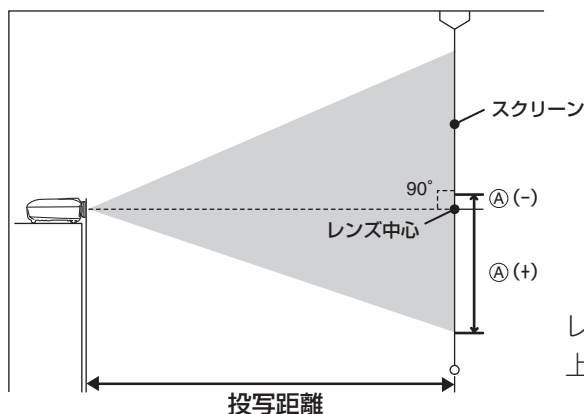
結束バンド(市販品)

底面

- 天吊固定部(5箇所) ☞ p.50
  天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。
- ケーブルカバー固定部(2箇所)
  オプションのケーブルカバーを固定します。

外形寸法図

※レンズ中心から天吊り固定部までの寸法

300
75
150
レンズ中心
56
45
134.7
389.7
160
5-M4×9

単位：mm

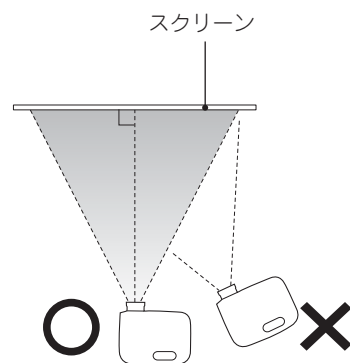
投写サイズを調整する

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。
下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。
値は目安です。

レンズ中心から映像下端までの高さです。
上下レンズシフトの設定により変わります。

単位:cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 最短 (Wide)	〜	投写距離 最長 (Tele)	Ⓐ 上下レンズシフト 最上	〜	Ⓐ 上下レンズシフト 最下
30型	66×37	87	〜	188	-17	〜	55
40型	89×50	117	〜	252	-23	〜	73
60型	130×75	177	〜	380	-35	〜	109
80型	180×100	238	〜	508	-46	〜	146
100型	220×120	298	〜	636	-58	〜	182
120型	270×150	359	〜	764	-69	〜	219
150型	330×190	450	〜	956	-86	〜	273
200型	440×250	601	〜	1276	-115	〜	364

単位:cm

4:3 スクリーンサイズ		投写距離 最短 (Wide)	〜	投写距離 最長 (Tele)	Ⓐ 上下レンズシフト 最上	〜	Ⓐ 上下レンズシフト 最下
30型	61×46	107	〜	231	-21	〜	67
40型	81×61	144	〜	309	-28	〜	89
60型	120×90	218	〜	466	-42	〜	134
80型	160×120	292	〜	623	-56	〜	178
100型	200×150	366	〜	779	-71	〜	223
120型	240×180	440	〜	936	-85	〜	268
150型	300×230	551	〜	1171	-106	〜	334
200型	410×300	736	〜	1562	-141	〜	446

スクリーンに対して本機を斜めに
設置すると映像が台形にゆがみます。

レンズシフト

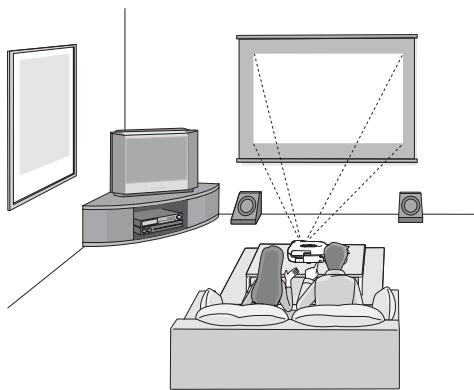
レンズシフトダイヤルを使って映像を投写する位置を調整できるため、次のようなとき設置の自由度が広がります。☞ p.16

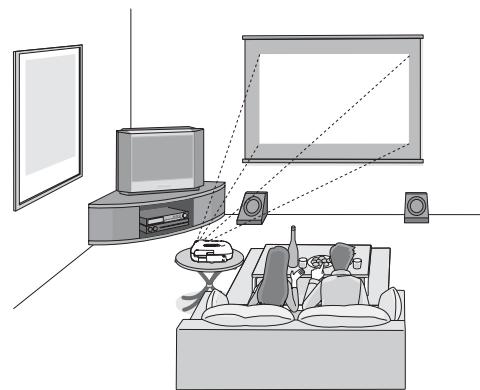
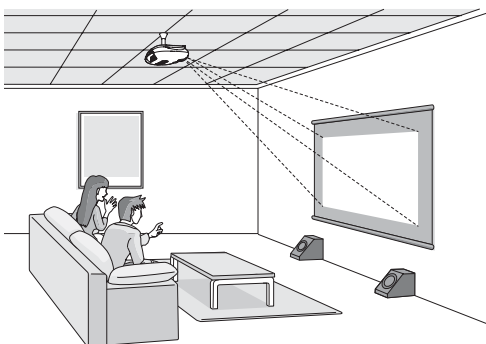
- 天吊りで使用するとき
- 高い位置にスクリーンがあるとき
- スクリーンの正面に座って映像を見るために本機を横に置くとき
- 棚の上などに本機を置くとき

レンズシフトは光学式のためデータ処理による画質の劣化はほとんどありません。
ただし、レンズシフトで調整しない状態が一番きれいな映像を投写できます。

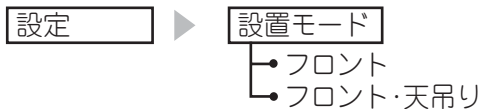
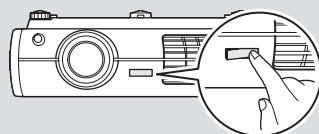
いろいろな投写方法

⚠警告
- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

注意
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- エアーフィルタは約3ヶ月に一度は掃除してください。
ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。

■ 正面から投写する

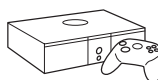
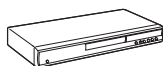
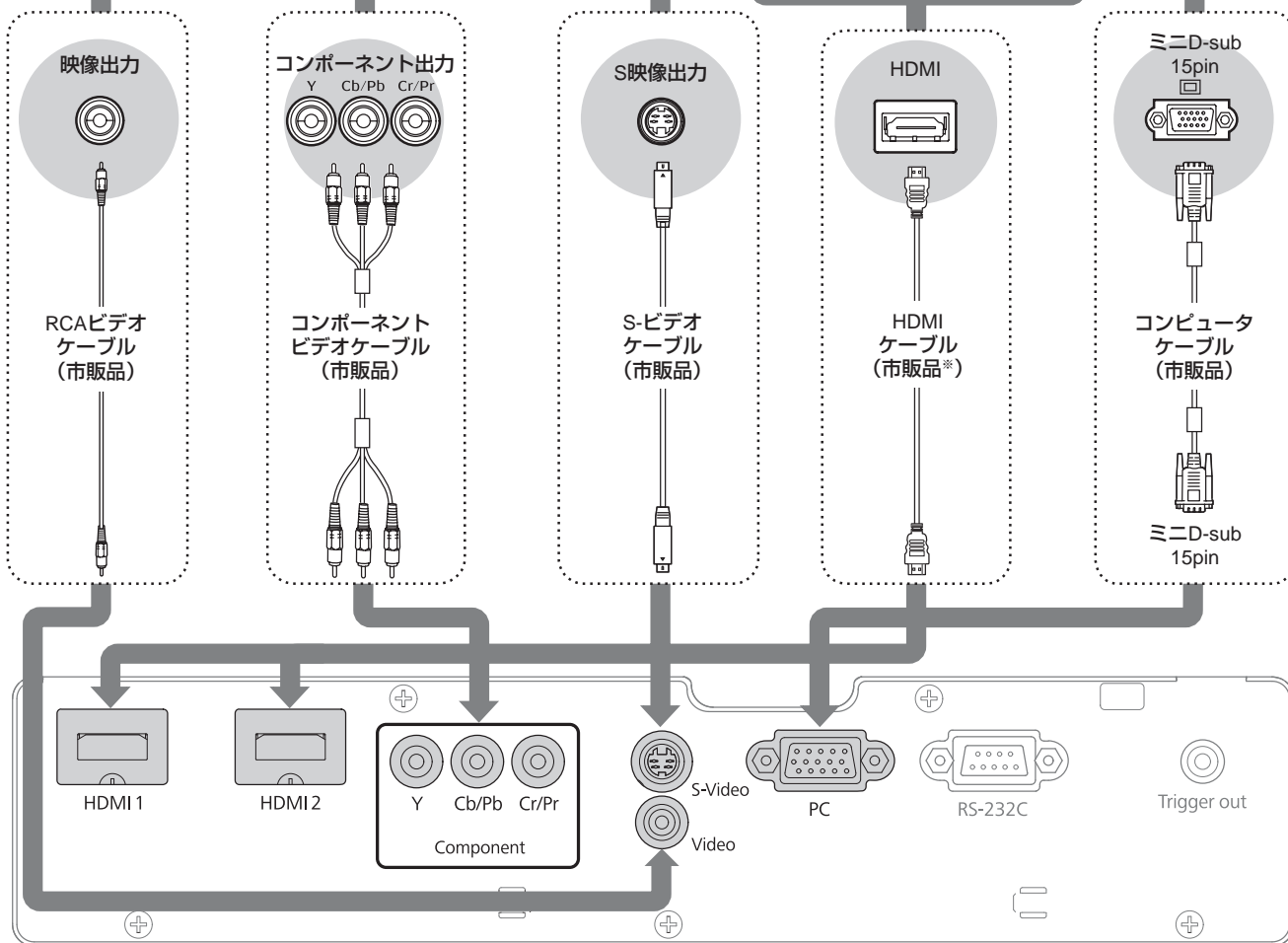
■ スクリーンのサイドから投写する

※スクリーンのサイドから投写する場合にも、スクリーンと本機が平行になるように設置してください。

■ 天吊りして投写する

※天吊りにして投写する場合は、環境設定メニューの設定を変更します。p.36

ポイント
天吊りしたときはEPSONロゴプレートの向きを変更できます。

プレートの端を押すと反対側が浮き上がるので、少し引き出し回転させてから押し込みます。

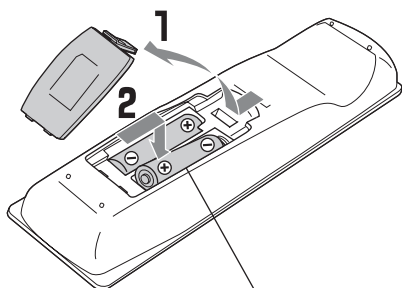
使い始めるまでの準備

映像機器と接続しよう

- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。
  電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。
  向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

※HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているものをお使いください。

- 接続する機器によっては、その機器特有のコネクタ形状をしている場合があります。その場合は、その機器の同梱かオプションのケーブルで接続します。
- ビデオ機器から出力されるビデオ信号の方式により、本機との接続に使用するケーブルが異なります。ビデオ機器によっては、何種類かのビデオ信号を出力できるものがあります。ビデオ信号方式を画質が良い順に並べると、一般的には次のようになります。
  デジタルコンポーネントビデオ [HDMI] ＞ アナログコンポーネントビデオ[Component] ＞ S-ビデオ[S-Video] ＞ コンポジットビデオ[Video]

  どのビデオ信号方式で出力できるかはお使いのビデオ機器に添付の『取扱説明書』で確認してください。コンポジットビデオ方式は単に「映像出力」と呼ばれる場合もあります。

リモコンに電池をセットする

お買い上げ時は、リモコンに電池はセットされていません。
同梱の乾電池をセットしてからお使いください。

1. 裏ブタのタブを押したまま、持ち上げます。
2. 乾電池を正しい向きで入れます。
3. フタを閉めます。

⚠注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(＋)(－)を正しく入れてください。

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池には、新品の単3形アルカリまたはマンガン乾電池2本を用意してください。
単3形アルカリまたはマンガン乾電池以外の電池は使用できません。

リモコンの操作範囲

■ 操作可能範囲（左右）

■ 操作可能範囲（上下）

※ この範囲は、リモコン信号を受け付けません。

投写と終了のしかた

電源を入れて投写する

投写中はレンズをのぞかないでください。

1 レンズカバーを外します。

2 電源ケーブルを接続します。

（同梱品）

3 主電源スイッチを入れます。

ON

4 接続機器の電源を入れます。

（市販品）

ON

5 電源を入れます。

操作パネルの場合　リモコンの場合

Lamp　Temp

Source　HDMI2　Comp　PC　S-Video　Video

本機を正しく設置·接続しているのに投写に問題があるときは p.15, 39

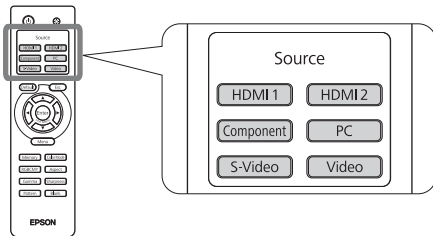
ポイント

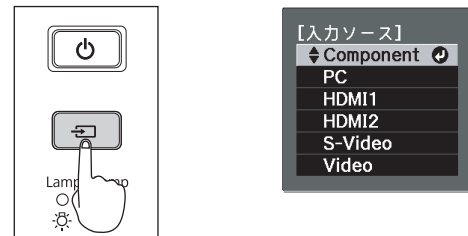
- 「ダイレクトパワーオン」を「オン」にすると、リモコンや操作パネルの電源を入れなくても、主電源スイッチをONにするだけで投写を開始します。p.36
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐ「チャイルドロック」機能や、誤操作などを防ぐ「操作ボタンロック」機能があります。p.36
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。p.36
- 本機には、接続しているコンピュータ映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能が装備されています。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときは、キーや設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。
  切り替えは Fn を押したまま F○（□／□ などの記載がキー上にある）を押して行います。
  切り替え後、しばらくすると投写を開始します。
  お使いのコンピュータの『取扱説明書』

出力切り替えの一例	
エプソン	Fn + F8
NEC	Fn + F3
Panasonic	
SOTEC	
HP	Fn + F4
東芝	Fn + F5
IBM	Fn + F7
LENOVO	
SONY	
DELL	Fn + F8
富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行います。OSによっては F7 で切り替えることができます。

目的の映像が映らない場合

接続機器を複数接続している場合や、映像が映らないときは、リモコンまたは本体操作パネルのボタンを押して入力ソースを切り替えます。ビデオ機器の場合は、［再生］や［プレイ］ボタンを押してから入力ソースを切り替えてください。

リモコンの場合

投写したい機器を接続している端子名が表記されたボタンを押します。

操作パネルの場合

を押すと、メニューが表示されます。
を押すたびにポインタが移動します。目的の入力ソースにポインタを合わせて入力ソースを選択します。
ポインタを合わせた状態で約3秒間なにも操作をしないと、選択した入力ソースに切り替わります。
Enter を押して決定することもできます。

ポイント

[Component]入力端子からの映像を投写していて、映像の色が不自然なときは環境設定メニューの「入力信号選択」で接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。p.37

電源の切りかた

1 **接続している機器の電源を切ります。**

2 **リモコンの ⏻ または本体操作パネルの ⏻ を押します。**

次のメッセージが表示されるので、もう一度、⏻ または ⏻ を押します。

電源を切りますか？
はい　：⏻を押す
いいえ：他のボタンを押す

3 **クールダウン (約16秒間)が終了し ⏻ の周囲の点滅が止まったら主電源スイッチをOFFにします。**

⏻ や ⏻ を押しただけでは電力を消費しています。

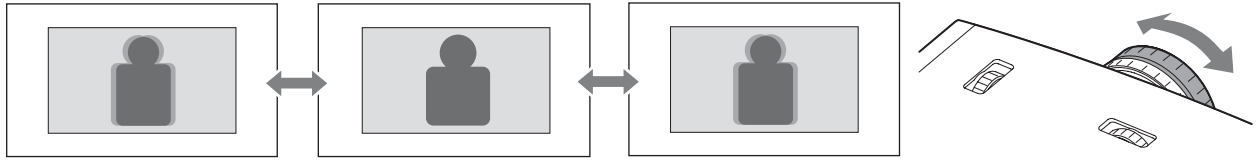
4 **レンズカバーを取り付けます。**

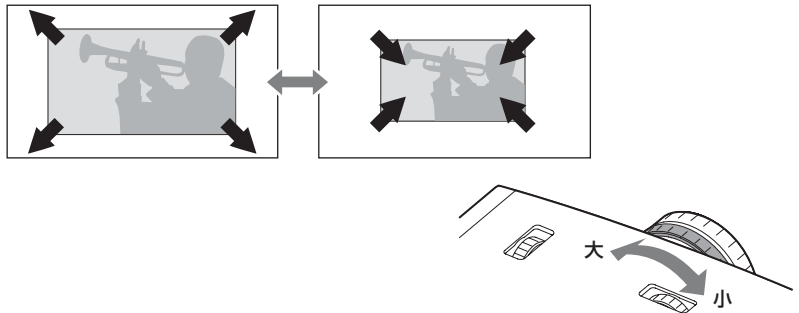
天吊り設置していてレンズカバーを取り外したまま使用する場合も、再輸送する際はレンズカバーが必要となりますので保管願います。

基本操作

投写画面を調整しよう

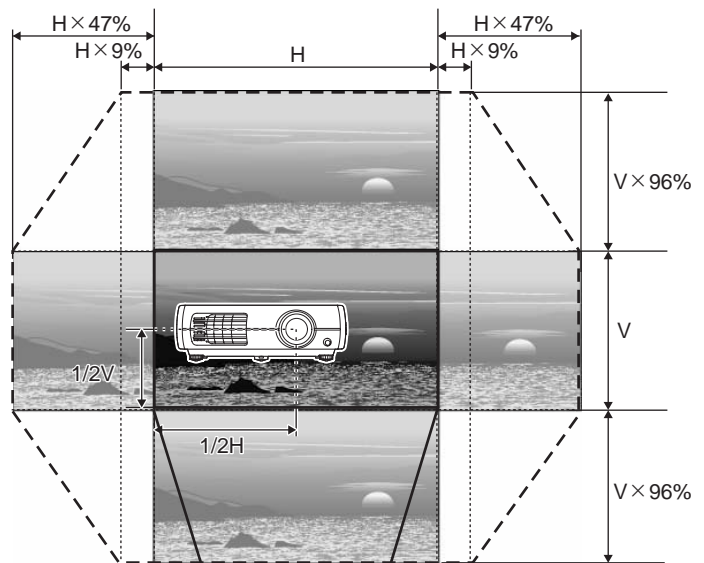
ピント調整（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。

投写サイズの調整（ズーム調整）

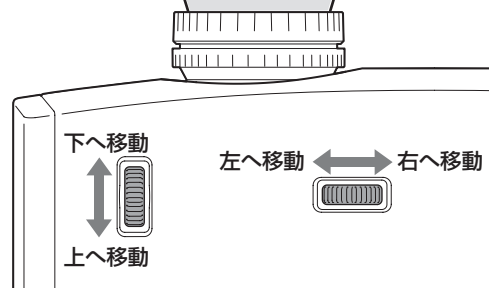
ズームリングを回して、投写映像の大きさを調整します。

投写映像の位置調整（レンズシフト）

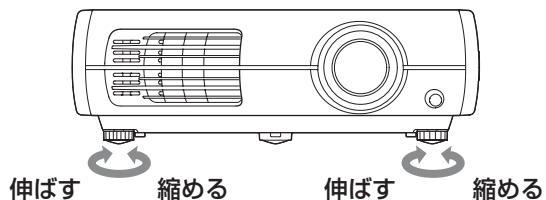
スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトを使い右図の範囲内で映像の位置を上下左右に移動できます。
レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置がシフト範囲のほぼ中央になります。

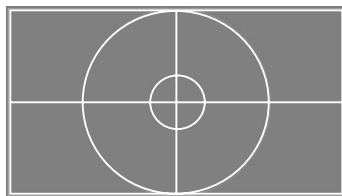
映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動させることはできません。

例）映像を左または右いっぱいにシフトしたときは、上下にはシフトできません。
映像を上または下いっぱいにシフトしたときは、左右には画面横幅の9%まではシフトできます。

基準投写位置（レンズシフト位置中心時）

基準投写位置から調整可能な
画面シフト範囲

注意 本機を輸送する際は、レンズシフトを一番下まで下げて輸送してください。レンズシフトを下げないで輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。

本機の傾きを調整する

机上設置時に投写映像が水平方向に傾いている場合（ ）は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。

テストパターン表示

本機を設置するときなどに、映像機器を接続しなくてもテストパターンを表示させてズーム・フォーカス調整やレンズシフトで投写位置の調整ができます。
リモコンの Pattern を押すと、テストパターンが表示されます。

テストパターン表示を終了するには再び Pattern を押します。

画質の調整をしよう

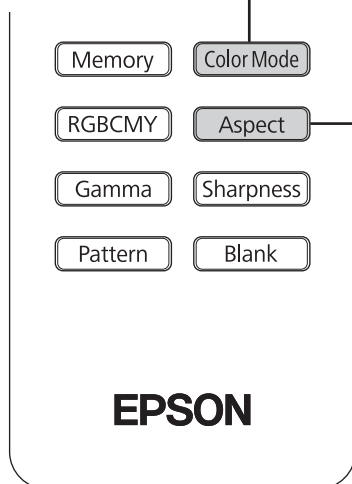
Memory　Color Mode
RGBCMY　Aspect
Gamma　Sharpness
Pattern　Blank

EPSON

映り具合を選ぶ（カラーモード）

Color Modeを押し、メニューからカラーモードを選択します。
環境設定メニューからも設定できます。

[カラーモード]
ダイナミック
リビング
ナチュラル
シアター
シアター・ブラック1
シアター・ブラック2
x.v.Color

[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの入力時

ワイド画面で映像を投写する（アスペクト）

Aspect を押し、メニューからアスペクトモードを選択します。
[HDMI1]、[HDMI2]、[Component]入力端子から、720ｐまたは1080ｉ、1080pの信号入力時は「ノーマル」に固定され、アスペクトの選択はできません。

オート で投写すると

●4:3の入力信号	→	ノーマル
●スクイーズ記録された入力信号	→	フル
●レターボックスの入力信号	→	ズーム

- コンピュータ入力時や一部のコンポーネントビデオ信号には対応していません。
- 接続機器がEIAJ規格に対応していないときはノーマルになります。

セレクトメニューの操作

を押して項目を選択します。

Enter を押して決定します。

※ Esc を押すとセレクトメニューを終了します。

ポイント

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

ダイナミック：明るい部屋での使用に適しています。

リビング：照明光のある部屋で、スポーツ観戦やテレビ番組などを楽しむのに適しています。

ナチュラル：暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモードから行うことをお勧めします。

シアター：暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適しています。

シアター・ブラック1/2：完全に遮光された部屋で使用するのに適しています。

シアター・ブラック1　DVDソフト作成時などに使用するプロフェッショナルモニターのようなクリアな色調。

シアター・ブラック2　映画館で映画を見るような、暖かく深みのある色調。

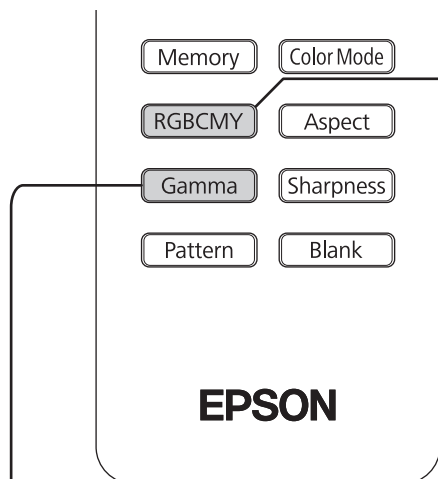
x.v.Color：HDMI1、2入力端子からの信号入力時に表示され選択できます。自然界の色をより忠実に再現して楽しみたいときに適しています。

■ のモードを選択すると、エプソンシネマフィルタが自動的に装着されるため、映像ソース本来の色に忠実な映像になります。

入力信号	● 通常のテレビ放送 ● スタンダードサイズ(4:3)の映像 ● コンピュータ映像	ビデオカメラ・DVDソフトなどのスクイーズ記録された映像	DVDなどのレターボックスの映像	● 通常のテレビ放送 ● スタンダードサイズ(4:3)の映像
推奨アスペクトモード	ノーマル	フル	ズーム	ワイド
結果	左右に黒い帯が表示されます。	入力信号をパネル解像度の幅に合わせて映像を投写します。	入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。	入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。その際、画像の中心部の拡大比率を抑え、左右端部の比率を大きくします。
備考	HDTVの映像を投写した場合は、16:9の映像になります。	4:3の映像を投写した場合は、横長の映像になります。	●4:3の映像を投写した場合は、上下が見えなくなります。この場合、環境設定メニューの「ズームサイズ」で上下にはみ出して見えない部分の映像を、縦方向に縮小して表示させることができます。 p.33 ●字幕つきの映像の字幕が切れるときは、環境設定メニューの「ズーム字幕位置」で調整できます。 p.33	4:3の映像をワイド画面で投写する場合に効果的です。中心部は拡大による画像のゆがみが少なくなるので、オリジナルサイズのイメージに近い映像になります。映像の両サイドが引き伸ばされるので、両サイドの動きが速く見え、スピード感あふれた映像になりスポーツ観戦により適しています。

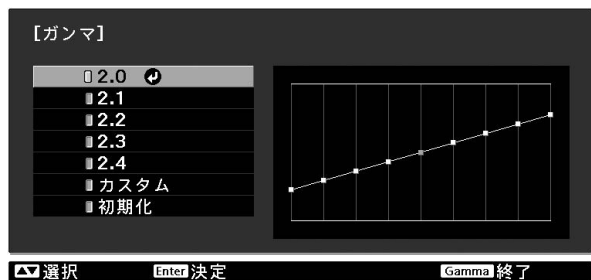
画質の調整

こだわりの色調整をしよう

「画質」メニュー→「シャープネス」、「アドバンスト」を調整し、ご自分の好みに合わせた絵作りをすることができます。「ガンマ」や「RGBCMY」はリモコンのボタンからワンタッチで調整画面を呼び出せます。
調整値はメモリに登録して、いつでも呼び出して映像に反映させることができます。
（☞ p.24）

色相・彩度・明度の調整

R（赤）G（緑）B（青）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。

ガンマの調整

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整します。
（調整中は投写映像が一時停止します。）
ガンマ補正値を「2.0」「2.1」「2.2」「2.3」「2.4」の中から選ぶ方法と、投写中の映像やガンマ調整グラフを見ながら調整する方法があります。
ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。

■ ガンマ補正値での調整

「2.0」「2.1」「2.2」「2.3」「2.4」の中から、接続機器や好みに合う補正値を ⏶ ⏷ か ⊡（上、下）で選択し、Enter か Enter で決定します。

ガンマ調整グラフで調整結果を確認します。

数値が小さいほど、映像の中の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。

数値が大きいと、映像の中の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。

■ 色相
映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。

■ 彩度
映像全体の鮮やかさを調整します。

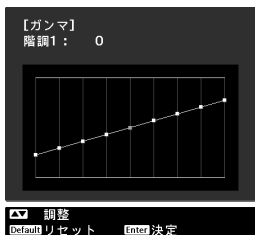
■ 明度
映像全体の色の明るさを調整します。

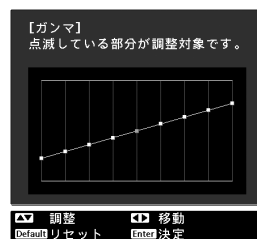
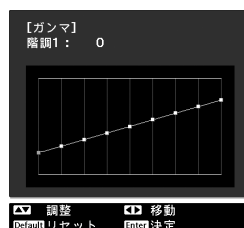
1 か (上、下) で色を選択・決定し、色相・彩度・明度のいずれかを選択し、 か (左、右) で調整します。

別の色を調整するときは、Esc を押します。
調整結果を初期値に戻すときは Default を押します。

2 RGBCMY **を押してメニューを終了します。**

■ カスタム（映像から調整する）
「カスタム」→「映像から調整する」の順に、 か (上、下)で選択し、Enter か Enter で決定します。
投写中の映像にガンマアイコンが表示されます。

明るさを調整したい箇所に や でガンマアイコンを移動し、Enter か Enter で決定すると、選んだ箇所と同じ明るさの領域が点滅し、ガンマ調整グラフが表示されます。

 や (上、下)で調整し、Enter か Enter で決定します。やり直す場合は Default で戻ります。

■ カスタム（グラフから調整する）
「カスタム」→「グラフから調整する」の順に、 か (上、下)で選択し、Enter か Enter で決定します。
ガンマ調整グラフが表示されます。

階調の明るさを調整したい箇所を や (左、右)で選択します。

 や (上、下)で調整し、Enter か Enter で決定します。やり直す場合は Default で戻ります。

RGBの調整（オフセット・ゲイン）

映像の明度を、R（赤）G（緑）B（青）についてそれぞれ、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）を調整します。
「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。

■オフセット

暗い部分をよりハッキリ見たい場合は、＋側（右側）に設定します。－側（左側）に設定すると、映像全体にメリハリはつきますが、暗い部分の濃淡の差が減少します。

■ゲイン

明るい部分をよりハッキリ見たい場合は、－側（左側）に設定します。＋側（右側）に設定すると、より白に近づき明るく感じますが、明るい部分の濃淡の差が減少します。

1 Menu を押し、「画質」→「アドバンスト」→「RGB」の順に選択し、決定します。

2 か（上、下）で項目を選択し、か（左、右）で調整します。

調整結果を初期値に戻すときは Default を押します。

3 Menu を押してメニューを終了します。

さらに画質を究めよう

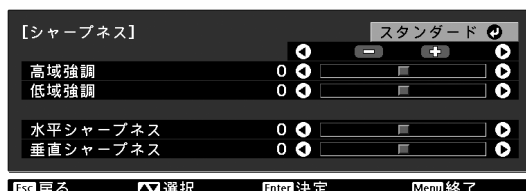
色調整に加え､高度なシャープネスやランプ光量の調整により､映像に合わせた画質を追求できます。

シャープネス（アドバンスト）の調整

高域強調を＋側に設定すると、髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調を＋側に設定すると、高域強調で強調された部分はほとんど強調されず、被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。

水平シャープネスまたは垂直シャープネスを＋側に設定すると、水平方向または垂直方向で画像を強調し、－側に設定するとソフトにします。

コンピュータ映像信号入力時は調整できません。

1 Menu を押し、「画質」→「シャープネス」の順に選択します。画面右上の「アドバンスト」を選択し決定します。

2 か（上､下）で項目を選択し、か（左､右）で調整します。
一番上のバーを使うと、高域強調と低域強調を同時に調整できます。
調整結果を初期値に戻すときは Default を押します。

3 Menu を押してメニューを終了します。

リモコンの Sharpness を押すと、現在｢画質｣メニューの｢シャープネス｣で選択されてる状態(スタンダード/アドバンスト)の設定画面を直接呼び出すことができます。

オートアイリス（自動絞り）の設定

｢オートアイリス｣を有効にすると、映像の明るさに合わせて光量が自動的に調整され、奥行きと深みのある画像になります。
映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、お好みにより｢標準｣、｢高速｣から選べます。

｢カラーモード｣を｢x.v.Color｣にしていると設定できません。

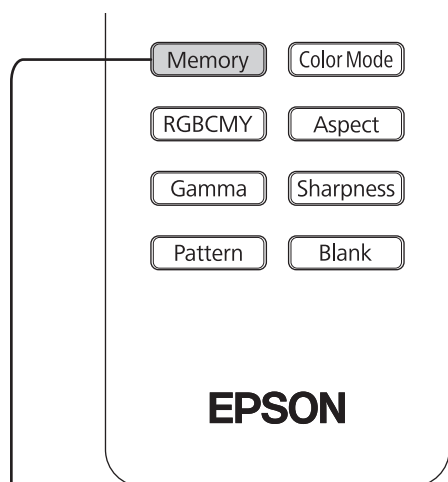
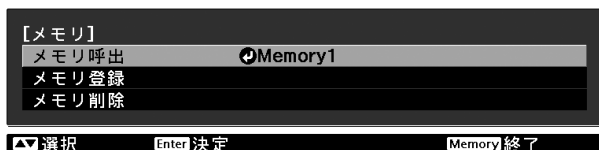
※映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。

1 Menu を押し、「画質」→「オートアイリス」の順に選択し、決定します。

2 ｢標準｣または｢高速｣を選択し、決定します。

3 Menu を押してメニューを終了します。

登録した画質で映像を見よう（メモリ機能）

環境設定メニューの「画質」で投写映像を調整したあとで、その調整値を登録することができます（メモリ登録）。
登録した調整値を簡単に呼び出すことができるので、いつでも容易にお好みの画質で映像を楽しめます（メモリ呼出）。

メモリの登録･呼出･削除･名称変更

メモリ登録できる調整は、以下のとおりです。
メモリは10個まで登録できます。
「メモリ名称変更」はEH-TW4000のみ行えます。

コンピュータ映像信号入力時以外に表示される
※EH-TW4000のみ

■メモリ登録

1 **登録したい状態に各設定を調整しておきます。**

2 **Memory を押し、「メモリ登録」を選択します。**
メモリ登録画面が表示されます。

3 **Memory1～10から登録するメモリ名を選択し、Enter か Enter を押します。**
メモリ名の左にある▯が緑色のときは登録済みです。
登録済みのメモリ名を選択しEnterかEnterを押すと、確認のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると以前の内容は消去され、現在の調整値が登録されます。

■メモリ呼出

登録したメモリを呼び出します。

1 **Memory を押し、「メモリ呼出」を選択します。**
メモリ呼出画面が表示されます。

2 **目的のメモリ名を選択します。**

- メモリを登録した時のカラーモードが右側に表示されます。
- メモリを呼び出した結果は、本機の電源をオフにしても保持されます。次回電源を入れたときには同じメモリの調整値で映像を投写します。
- 16:9の映像や、入力映像の解像度によって、呼び出したメモリのアスペクト が投写映像に反映されない場合があります。

■メモリ削除

不要になったメモリを削除しメモリの整理ができます。

1 **Memory を押し、「メモリ削除」を選択します。**
メモリ削除画面が表示されます。

2 **削除するメモリ名を選択します。**
確認のメッセージが表示されます。
「はい」を選択すると削除が実行されます。

登録したメモリをすべて消去する場合は、環境設定メニューの「初期化」→「メモリ初期化」で行います。 p.38

■メモリ名称変更(EH-TW4000のみ)

初期設定の名称（Memory1～Memory10）を変更できます。登録する調整値に応じた名前にすれば迷わずに呼び出せます。

1 **Memory を押し、「メモリ名称変更」を選択します。**
メモリ名称変更画面が表示されます。

2 **名称を変更するメモリ名を選択し Enter か Enter を押します。**

3 **名称選択画面が表示されます。**
表示されているメモリ名から名称を選ぶときは、目的の名称を選択し Enter か Enter を押します。続いて手順5に進んでください。任意に名称を付けたいときは、「カスタム」を選択します。

4 **「カスタム」を選択すると、次のキーボードが表示されます。**
かを押して目的のキーを選択し Enter か Enter を押します。
名称を入力し終わったら、最後に「Finish」を選択して Enter か Enter を押します。

5 **選択あるいは入力したメモリ名称が、メモリ名の横に表示され、名称が変更されたことを示します。**
以降、「メモリ呼出」や「メモリ登録」画面上に変更後の名称が表示されます。

画質の調整

環境設定メニューの機能

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。
環境設定メニューの表示には、次の2種類があります。

■ フルメニュー
環境設定メニューの全項目を確認しながら設定できます。

■ ラインメニュー
環境設定メニューの「画質」メニューの一部の項目を調整できます。調整した結果を投写映像で確認しながら調整できます。

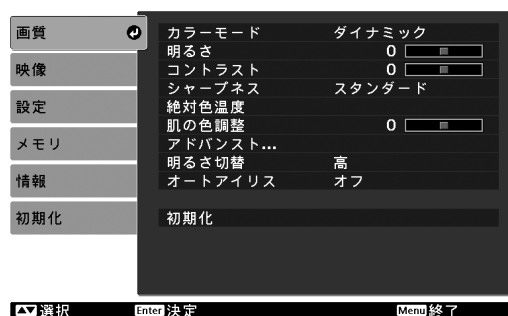
操作ガイド

操作方法の詳細は次項の「環境設定メニューの操作」をご覧ください。

環境設定メニューは、メニューカラーや表示位置を変更できます。
「設定」→「表示設定」→「メニュー表示位置」、「メニューカラー」

環境設定メニューの操作

1 メニューの呼び出し

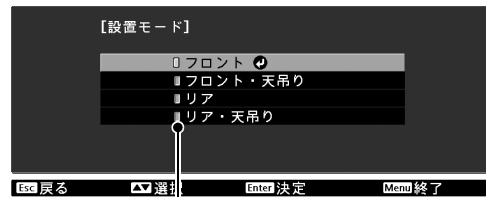
フルメニュー: Menu を押します。

ラインメニュー: Enter または、Enter を押します。

2 項目選択

▲ ▼ で項目を選び Enter を押します。

3 設定の変更

例:)

Ⓛ Ⓡ で調整する

▮（緑）：現在の設定値

Ⓤ Ⓓ で項目を選び Enter を押す

⏎ が表示されている項目で Enter を押すと、その項目の選択画面に移行します。
一階層戻るときは、Esc を押します。

ポイント

- 「明るさ」など調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに Default を押すと調整値が初期値に戻ります。
- メニュー表示中にリモコンの Blank を押すと、メニューを一時的に消すことができます。メニューで調整した結果の映像を確認したいときなどに便利です。もう一度、Blank を押すとメニューが表示されます。

4 設定の終了

Menu を押します。

環境設定メニュー一覧（EH-TW3000 の場合）

映像信号が何も入力されていないときは、「画質」メニューと「映像」メニューは調整できません。また、「画質」メニュー、「映像」メニュー、「情報」メニューは投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

は初期設定値
設定
ダイレクトパワーオン p.36 オン, オフ
スリープモード p.36 オフ, 5分, 10分, 30分
チャイルドロック p.36 オン, オフ
操作ボタンロック p.36 オン, オフ
トリガーアウト p.36 オン, オフ
高地モード p.36 オン, オフ
設置モード p.36 フロント, フロント・天吊り, リア, リア・天吊り
表示設定 p.36
メニュー表示位置 左上, 中央上, 右上, 左中央, 中央, 中央右, 左下, 中央下, 右下
メニューカラー カラー1, カラー2
メッセージ表示 オン, オフ
背景表示 黒, 青, ロゴ
スタートアップスクリーン オン, オフ
型番表示モード オン, オフ
入力信号選択 p.37
ビデオ信号方式 オート, NTSC, NTSC4.43, PAL, M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM
Component Auto, YCbCr, YPbPr
初期化 p.37 はい, いいえ
コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ表示
コンポーネントビデオ/コンピュータ映像信号入力時のみ表示
コンピュータ映像信号入力時のみ表示
情報
ランプ点灯時間
● ランプ交換時期になると、文字が黄色で表示されます。
● 0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。
入力ソース
入力信号
入力解像度
走査方式
リフレッシュレート
同期情報
ビデオ信号方式
情報メニューでは本機の状態表示のみを行います。
Deep Color
HDMI伝送の色深度を表示します。
ステータス
本機に発生した異常についての情報です。
お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
メモリ
メモリ呼出 p.38 Memory1 ～ Memory10
メモリ登録 p.38 Memory1 ～ Memory10
メモリ削除 p.38 Memory1 ～ Memory10
初期化
全初期化 p.38
メモリ初期化 p.38
ランプ点灯時間初期化 p.38

環境設定メニュー一覧（EH-TW4000 の場合）

映像信号が何も入力されていないときは、「画質」メニューと「映像」メニューは調整できません。また、「画質」メニュー、「映像」メニュー、「情報」メニューは投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

■ は初期設定値

■設定

項目	参照	設定値
ダイレクトパワーオン	p.36	オン, **オフ**
スリープモード	p.36	オフ, 5分, 10分, **30分**
チャイルドロック	p.36	オン, **オフ**
操作ボタンロック	p.36	オン, **オフ**
トリガーアウト	p.36	オン, **オフ**
高地モード	p.36	オン, **オフ**
設置モード	p.36	**フロント**, フロント・天吊り, リア, リア・天吊り
表示設定	p.36	
メニュー表示位置		左上, 中央上, 右上, 左中央, **中央**, 中央右, 左下, 中央下, 右下
メニューカラー		**カラー1**, カラー2
メッセージ表示		**オン**, オフ
背景表示		**黒**, 青, ロゴ
スタートアップスクリーン		**オン**, オフ
型番表示モード		オン, **オフ**
入力信号選択	p.37	
ビデオ信号方式		**オート**, NTSC, NTSC4.43, PAL, M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM
Component		**Auto**, YCbCr, YPbPr
初期化	p.37	はい, いいえ

コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ表示
コンポーネントビデオ/コンピュータ映像信号入力時のみ表示
コンピュータ映像信号入力時のみ表示

■情報

項目	説明
ランプ点灯時間	● ランプ交換時期になると、文字が黄色で表示されます。 ● 0〜10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。
入力ソース	
入力信号	
入力解像度	
走査方式	
リフレッシュレート	
同期情報	
ビデオ信号方式	情報メニューでは本機の状態表示のみを行います。
Deep Color	HDMI伝送の色深度を表示します。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

■メモリ

項目	参照	設定値
メモリ呼出	p.38	Memory1 〜 Memory10
メモリ登録	p.38	Memory1 〜 Memory10
メモリ削除	p.38	Memory1 〜 Memory10
メモリ名称変更	p.38	Memory1 〜 Memory10

■初期化

項目	参照
全初期化	p.38
メモリ初期化	p.38
ランプ点灯時間初期化	p.38

画質メニュー

コンピュータ映像信号入力時以外は表示

カラーモード ※1

投写する環境や映像に合わせて、色調整を7種類から選択します。p.18

明るさ ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
接続機器の出力レベルが弱く映像が暗く感じるときに調整します。

コントラスト ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の明暗の差を調整します。
コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。

色の濃さ ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の色の濃さを調整します。

色合い ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の色合いを調整します。

シャープネス ※2

映像のシャープ感を調整します。

スタンダード

映像全体に調整結果を反映させます。

アドバンスト

特定の領域を調整したいときに使います。p.23

絶対色温度 ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像全体の色合いを調整します。高い値を選択すると青みがかった映像になり低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。テレビ録画された映像は高い値、映画などの映像は低い値にするなどご覧になる映像に応じて5000K～10000Kの範囲内で12段階の中から選択します。

肌の色調整 ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
肌の色をお好みの色に調整します。＋側に設定すると緑がかった色になり、－側に設定すると赤紫がかった色になります。

アドバンスト

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)

ガンマ ※1

ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、映像やグラフを見ながら調整する方法があります。p.20

RGB ※1

R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。p.22

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※2 入力ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

コンピュータ映像信号入力時以外は表示
コンピュータ映像信号入力時のみ表示
（[HDMI1]/[HDMI2] 入力端子から入力している場合は表示されません。）

RGBCMY ※1

R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。p.20

コントラスト強調（EH-TW4000のみ）

映像内のコントラストを計算し、自動で高コントラストにする機能です。
映像のコントラストが甘いと感じるときに、お好みで3段階から選んで設定できます。数字が大きくなるほどコントラストが強調されます。

明るさ切替 ※2

ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。
暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低」に設定します。「低」で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。

オートアイリス ※3

（「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると設定できません。）
映像の明暗変化に対する光量調整の追従性をお好みにより「標準」、「高速」から選べます。「オフ」にすると光量調整は行いません。p.23

初期化

「画質」メニューのすべての調整値を初期値に戻します。

映像メニュー

アスペクト ※1

アスペクトモードを選択します。p.18

ズームサイズ ※1

「アスペクト」を「ズーム」に設定しているときに限り設定ができます。
「ズーム」設定時に上下にはみ出して見えない部分の映像を、縦方向に縮小して表示できるようにする機能です。設定した調整値（縮小率）が大きいほど、縦方向に映像が圧縮されて潰れたような表示になります。

ズーム字幕位置 ※1

「アスペクト」を「ズーム」に設定しているときに限り設定ができます。
字幕つき映像を投写しているとき、映像の表示位置を上下のどちらかに動かして字幕を表示させる機能です。

トラッキング ※1

映像に縦の縞模様が出るときに調整します。

同期 ※1

映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネスの調整で発生することもあります。
- トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※2 入力ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。
※3 カラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

環境設定メニュー

コンピュータ映像信号入力時以外は表示
コンピュータ映像信号入力時のみ表示
（[HDMI1]/[HDMI2] 入力端子から入力している場合は表示されません。）

表示位置 ※1

（[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの信号入力時は設定不可）
映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。位置の調整は を押して行います。

プログレッシブ変換 ※1（EH-TW3000のみ）

（[Video]、[S-Video]入力端子から信号入力時、または[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能）
映像に適した方法でインターレース(i)信号をプログレッシブ(p)信号に変換します。

- オフ　：動きの大きな映像をお楽しみいただくときに適しています。
- ビデオ　：一般のビデオ映像に適しています。
- フィルム/オート：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。

プログレッシブ変換 ※1（EH-TW4000のみ）

（[Video]、[S-Video]入力端子から信号入力時、または[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能）
映像に適した方法でインターレース(i)信号をプログレッシブ(p)信号に変換します。

- ビデオ　：一般のビデオ映像に適しています。
- フィルム　：フィルム映像に適しています。「オート」に設定していてフィルム映像がちらつくときに選択します。
- オート　：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。

動き検出 ※1（EH-TW3000のみ）

（[Video]、[S-Video]入力端子から信号入力時、または[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能）
プログレッシブ変換での動作モードを動きの速い映像用か、遅い映像用かにより切り替えます。数字が小さいほど静止画をご覧になるのに適したモードになります。数字が大きいほど動画をご覧になるのに適したモードとなります。

フレーム補間（EH-TW4000のみ）

前後のコマを比較して中間のコマを自動生成することで、ぼやけを抑えクリアに動画を投写します。
補間の加減を「弱」、「標準」、「強」からお好みで選択できます。

自動調整

入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。

アドバンスト

（「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。）

ノイズリダクション※1

映像のざらつきを抑えます。
モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。
DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは「オフ」に設定してご覧ください。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

コンピュータ映像信号入力時以外は表示

モスキートNR（EH-TW4000のみ）

MPEG映像投写時に生じる映像の縁付近に現れるノイズを低減します。
モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。

ブロックNR（EH-TW4000のみ）

低いビットレートで圧縮したMPEG映像投写時に生じるブロック状のノイズを低減するときに「オン」に設定します。

セットアップレベル ※1

（[Video]、[S-Video]入力端子からNTSC信号入力時、または[Component]入力端子からコンポーネントビデオ信号入力時に設定可能)
韓国向けの製品など黒のレベル(セットアップレベル)が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。

EPSON Super White ※1

（カラーモードが「ナチュラル」「シアター」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」の場合で、コンポジットビデオ 、S-ビデオ 、コンポーネントビデオ 入力時のみ設定可能）
雲や真夏の海辺の白いTシャツなど、明るい白がメリハリなくつぶれていると感じたときは、「オン」に設定します。
「オン」に設定している場合は、「HDMIビデオレベル」での設定は無効になります。

出画率変更 ※1

（コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時とコンピュータ入力時は設定不可）
出画率(投写する映像の範囲)を変更できます。

- 100％～92％：100％に設定すると、映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。その場合は、表示位置を調整してノイズを見えなくすることができます。(映像信号によってはノイズが残る場合があります。) p.34
- オート：[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に100％表示または92％表示で投写します。(接続機器のDVI端子と本機の[HDMI1]、[HDMI2]入力端子を接続している場合は表示されません。)

HDMIビデオレベル※1

(「EPSON Super White」が「オフ」の場合のみ設定可能ですが、「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると設定できません。)
本機の[HDMI1]、[HDMI2]入力端子とDVDプレイヤなどを接続している場合に、DVDプレイヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤ側の設定では、Normal(通常)、Expand(拡張)となっていることがあります。

2-2プルダウン（EH-TW3000のみ）

（[Component]入力端子、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子からの1080p/24Hz信号入力時のみ設定可能）
1080p/24Hz信号の映像を2-2プルダウンにして投写するか、2-3プルダウンにして投写するか選択できます。「オン」にすると2-2プルダウンに設定されます。

4-4プルダウン（EH-TW4000のみ）

（[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、1080i/60Hz、1080p/24Hz信号入力時と[Video]、[S-Video]入力端子からNTSC、M-PAL、PAL60信号入力時のみ設定可能）
映像を4-4プルダウンにして投写するか、2-3プルダウンにして投写するか選択できます。「オン」にすると4-4プルダウンに設定されます。
1080p/24Hz以外の信号入力時に、映像の動きが滑らかでなく不自然に感じるときは「オフ」に設定してください。

初期化

「映像」メニューのうち、「アスペクト」以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

設定メニュー

ダイレクトパワーオン

主電源スイッチをONにすると[⏻]や⏻を押さなくても投写を開始する(オン)/しない(オフ)を設定します。
「オン」に設定しているときは、停電復旧時などに、主電源スイッチがONになっていると、投写が開始されますので、注意してください。

スリープモード

本機は、信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スリープモードが働くまでの時間を4種類から選択します。「オフ」にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、⏻を押すと投写を再開します。

チャイルドロック

お子様が、誤って電源を入れてレンズをのぞかないように、操作パネルの[⏻]での電源オンをロックします。ロック時は、[⏻]を約3秒間押し続けると電源が入ります。[⏻]で電源を切ったり、リモコンでの操作は通常どおり行えます。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウン ▸▸が終了した後に、設定が有効になります。
「チャイルドロック」を「オン」に設定しても、「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定しているときは、主電源スイッチをONにするだけで投写が開始されますので、注意してください。

操作ボタンロック

「オン」にすると本体操作パネルのボタン操作が無効になり、ボタン操作を行うと画面上に🔒が表示されます。解除するには、本体操作パネルの[Enter]を約7秒以上押します。
設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。

トリガーアウト

本機の電源オン/オフの状態や異常状態になったことを外部機器に伝えるトリガーアウト機能のオン/オフを設定します。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウン ▸▸が終了した後に、設定が有効になります。

高地モード

内部温度を下げるためのファンの回転速度を設定します。
標高約1500m以上でお使いの場合は「オン」にします。

設置モード

本機の設置状態に応じて設定します。
- フロント:スクリーン正面から投写する場合に選択します。
- フロント・天吊り:天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。
- リア:リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
- リア・天吊り:天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。

表示設定

メニュー表示位置

メニューが表示される位置を[▲][▶][▼][◀]を押して指定します。

メニューカラー

トップメニューの色合いを選択します。

- カラー1：黒色
- カラー2：青色

メッセージ表示

次のメッセージ表示をする(オン)/しない(オフ)を設定します。

- 映像信号やカラーモード、アスペクト、メモリ呼び出し時の項目名表示
- 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時

背景表示

ブランク実行中や映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。

スタートアップスクリーン

スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。

型番表示モード

プロジェクターの型番を表示します。

入力信号選択

ビデオ信号方式

[Video]入力端子、または[S-Video]入力端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。「オート」にすると、自動的にビデオ信号を設定します。
「オート」にしていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。

Component

[Component]入力端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。
「Auto」にすると、自動的に設定します。「Auto」にしていて色が不自然な場合は、適切な信号を選択してください。

初期化

「設定」メニューのうち、「高地モード」、「設置モード」、「Component」以外のすべての調整値を初期値に戻します。

メモリメニュー

メモリ呼出

「メモリ登録」で登録した設定値を呼び出します。☞ p.24
「メモリ登録」で何も登録していないときは選択できません。

メモリ登録

「画質」メニューの設定値を登録できます。☞ p.24

メモリ削除

登録済みのメモリで不要になったものを削除します。☞ p.24

メモリ名称変更（EH-TW4000 のみ）

Memory1〜Memory10の名称を変更できます。調整値に応じた名称にすれば迷わずに呼び出せます。
名称を変更する際は、以下の2通りの方法があります。☞ p.24

- あらかじめ登録されている名称の中から選んで変更する。
- 「カスタム」を選択後、任意に名称を入力して変更する。

初期化メニュー

全初期化

環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。「設定」メニューの「Component」と「メモリ」メニューの内容は全初期化を実行しても初期値に戻りません。

メモリ初期化

「メモリ登録」で登録した内容をすべて初期化（消去）します。

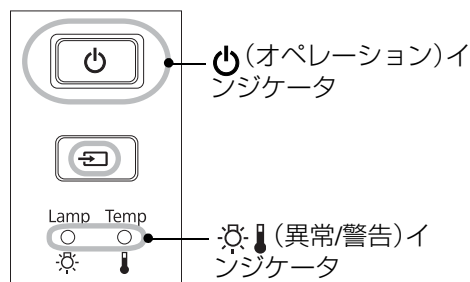
ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。

インジケータの見方

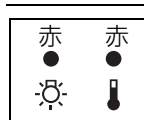
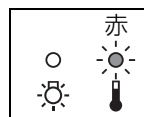
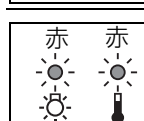
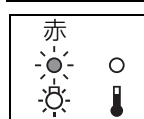
本機は、⏻の周囲とアイコン、⇥のアイコンが点灯・点滅したり、☼🌡インジケータが赤く点灯・点滅して本機の状態を知らせています。

下表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

※インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または、主電源スイッチが入っていません。

☼🌡(異常 / 警告)インジケータ 点灯・点滅時 異常/警告

●:点灯　☼/⏻:点滅　○:消灯

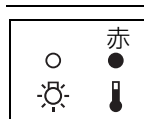
内部異常

ファン異常 / 温度センサ異常

オートアイリス異常 / シネマフィルタ異常

注意　電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☞ 裏表紙

ランプ異常 / ランプ点灯失敗

ランプが割れていないか確認します。☞ p.48
エアーフィルタを掃除します。☞ p.45

ランプが割れていなければ → ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 → ランプを再セットしても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙

ランプが割れているときは → お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。☞ 裏表紙

標高 1500m 以上でお使いの場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。☞ p.36

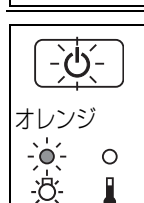
内部高温異常(オーバーヒート)

ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約 5 分間そのままの状態で待ちます。ファンが停止したら、本体背面の主電源スイッチを OFF にします。

高速冷却中

このまま投写を続けられますが、さらに高温になると投写を自動的に停止します。

- 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。
- エアーフィルタが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☞ p.45

電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、主電源スイッチをOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙

ランプ交換勧告

ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。☞ p.50
このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。

正常動作時のインジケータの状態

正常動作時は インジケータは消灯しています。 ：点灯 ：点滅

	スタンバイ状態	を押すと、しばらくして投写を開始します。
	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
	投写中	通常動作中です。
	クールダウン中 **(約16秒)**	クールダウン中はリモコン、操作パネルからの操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に本体背面の主電源スイッチをOFFにしたときは、ランプが十分に冷えてから(約10分必要)、再び主電源スイッチをONにしてください。

インジケータを確認してもわからないとき

まず下記をご覧になり、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- **映像が表示されない** p.41
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- **動画が表示されない** p.41
  コンピュータで再生する動画が表示されない。
- **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される** p.41
- **「映像信号が入力されていません。」と表示される** p.42
- **ぼやける、ピントが合わない** p.42
- **ノイズが入る、乱れる** p.42
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- **切れる(大きい)、小さい** p.43
  映像の一部分しか投写されないなど...
- **色合いが違う** p.43
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- **暗い** p.44
- **自動的に投写が消える** p.44

投写開始時のトラブル

- **電源が入らない** p.44

リモコンでのトラブル

- **リモコンで操作できない** p.44

映像に関するトラブル

■映像が表示されない

電源を入れましたか？	リモコンの⏻か、操作パネルの ⏻ を押します。
主電源スイッチが入っていますか？	本体背面の主電源スイッチをONにしてください。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
ブランク状態ではないですか？	リモコンの Blank を押してブランク状態を解除します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オン」に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。 「設定」→「表示設定」→「メッセージ表示」 p.37
映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.37
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」 p.37
環境設定メニューの設定が間違っていませんか？	全初期化してみてください。 p.38
接続の作業を、本機やコンピュータの電源が入っている状態で行いましたか？ コンピュータ投写時のみ	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクション)キーが使えないことがあります。接続しているコンピュータと本機の電源を入れ直してください。

■動画が表示されない

コンピュータの映像信号が外部と液晶モニタ両方同時に出力されるように設定されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号が外部のみに出力されるように切り替えます。 コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへの出力のしかた」など

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.37
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」 p.37

困ったときに

映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」で入力中の映像信号を確認し、「対応解像度一覧」で対応しているか確認してください。 「情報」→「入力解像度」p.29, p.31 「対応解像度一覧」p.51

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[HDMI1]、[HDMI2]、[Component]、[PC]、[S-Video]、[Video]か操作パネルの[ ]で映像を切り替えます。 p.15
接続している機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタ以外(外部)にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタに表示されないモデルもあります。 コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへの出力のしかた」など
	本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクション)キーが使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。 p.14

■ ぼやける、ピントが合わない

ピント調整しましたか？	ピント調整を行います。 p.16
レンズカバーが付いていませんか？	レンズカバーを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は16:9スクリーンサイズの場合は87～1276cm、4:3スクリーンサイズの場合は107～1562cmです。この範囲で設置してください。 p.10
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」p.37
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」p.37

ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。
「同期」、「トラッキング」は正しく調整されていますか？ コンピュータ投写時のみ	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの「トラッキング」、「同期」で調整します。 「映像」→「トラッキング」、「同期」 p.33
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 「対応解像度一覧」 p.51、コンピュータの『取扱説明書』など

■切れる（大きい）、小さい

アスペクトは正しく選択していますか？	[Aspect]を押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。 p.18 字幕つきの映像を「ズーム」で投写している場合は、環境設定メニューの「ズーム字幕位置」で調整します。 p.33
「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 「映像」→「表示位置」 p.34
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータでデュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 「対応解像度一覧」 p.51、コンピュータの『取扱説明書』など

■色合いが違う

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.37
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」 p.37
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 「画質」→「コントラスト」p.32
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの「アドバンスト」を調整してください。 「画質」→「アドバンスト」 p.32
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 「画質」→「色の濃さ」、「色合い」 p.32

■ 暗い

映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を設定してください。 「画質」→「明るさ」p.32
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 「画質」→「コントラスト」p.32
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 p.48

■ 自動的に投写が消える

「スリープモード」が働いていませんか？	映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの⏻か、操作パネルの[⏻]を押すと電源が入ります。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にします。 「設定」→「スリープモード」p.36

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

電源を入れましたか？	リモコンの⏻か、操作パネルの[⏻]を押します。
「チャイルドロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「チャイルドロック」を「オン」に設定している場合は、操作パネルの[⏻]を約3秒間押し続けるか、リモコンの⏻を押します。「設定」→「チャイルドロック」p.36
「操作ボタンロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「操作ボタンロック」を「オン」に設定していると、操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンの⏻を押します。 「設定」→「操作ボタンロック」p.36
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。 裏表紙

リモコンでのトラブル

■ リモコンで操作できない

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲 p.13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約10ｍです。 p.13
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 p.13

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

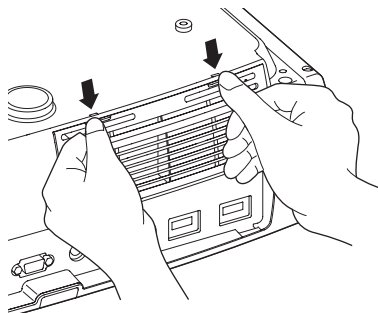
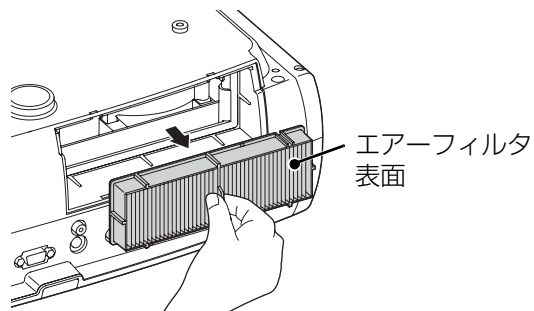
本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

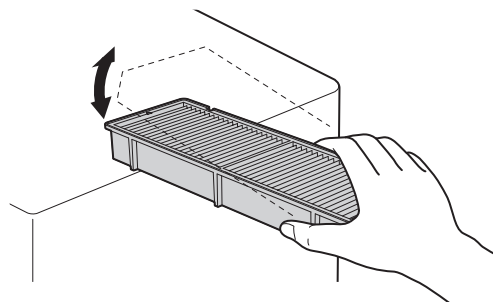
エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除、または交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアーフィルタの掃除を行ってください。

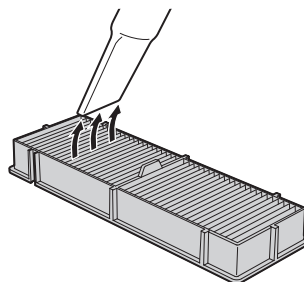
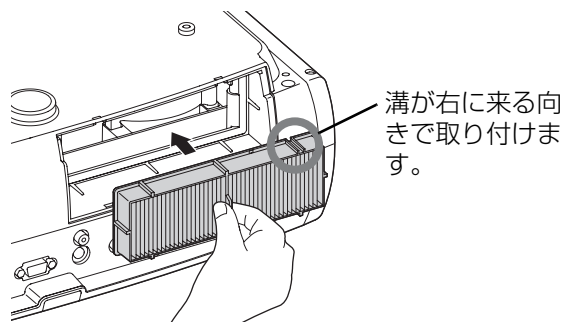
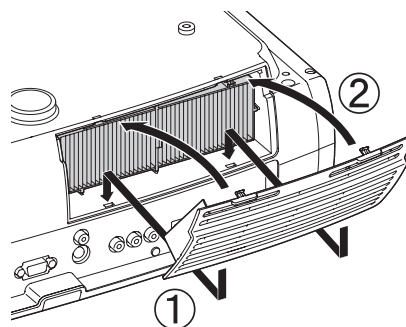
- エアーフィルタにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に一度はエアーフィルタの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアーフィルタは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいものを使用し、軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアーフィルタ内部に入り込み取れなくなります。

1 エアーフィルタカバーを取り外します。

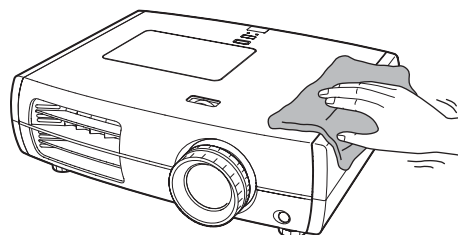
つまみを押して、引っ掛かりが外れたらカバーを引き上げます。

2 エアーフィルタを取り出します。

3 エアーフィルタの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。

持ち替えて手に持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。

エアーフィルタを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

付録

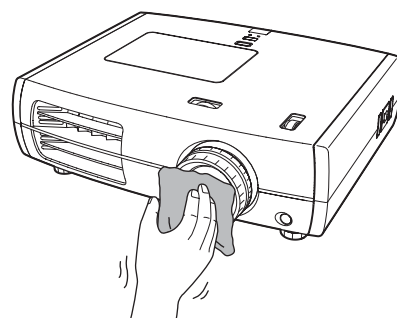
4 **掃除機でエアーフィルタに残ったホコリを表側から吸い取ります。**

5 **エアーフィルタを取り付けます。**

6 **エアーフィルタカバーを取り付けます。**

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

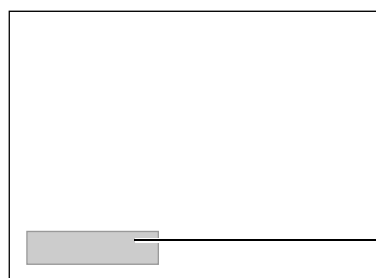
レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

消耗品の交換時期

エアーフィルタの交換時期

- エアーフィルタが破れたり、掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき
  オプションの「エアーフィルタ」と交換してください。
  ☞「エアーフィルタの交換方法」p.48

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約3900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。

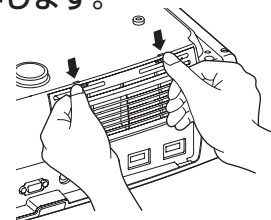
消耗品の交換

エアーフィルタの交換方法

⚠注意
電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。

ポイント
使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
枠部分の材質:PP
フィルタ部分の材質:PP、PET

1 ⏻ か ⏻ を押して電源を切り、主電源スイッチをOFFにします。

2 エアーフィルタカバーを外します。

つまみを押して、引っ掛かりが外れたらカバーを引き上げます。

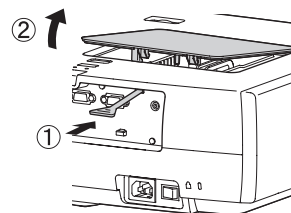
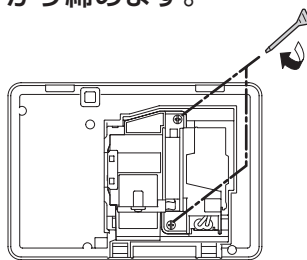
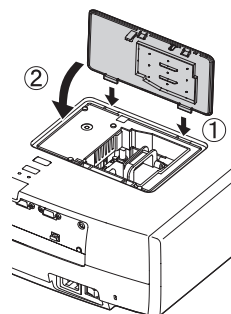
ランプの交換方法

⚠警告
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠注意
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。

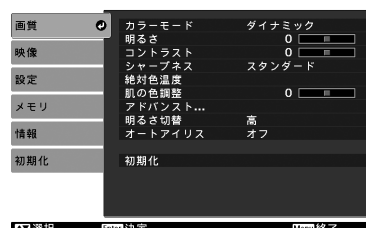
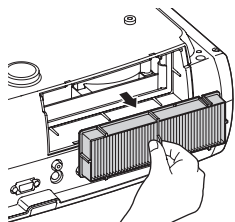
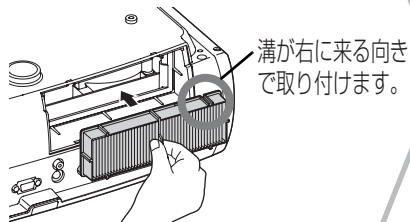
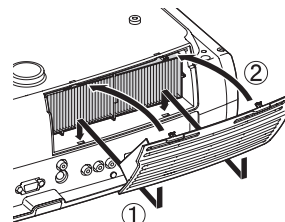
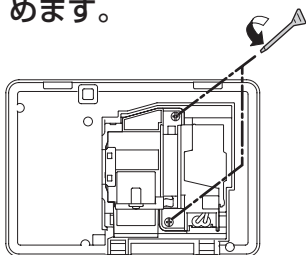
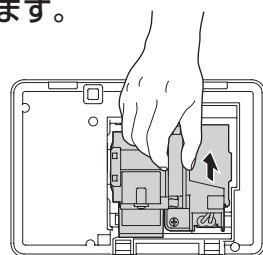
1 ⏻ か ⏻ を押して電源を切り、主電源スイッチをOFFにします。

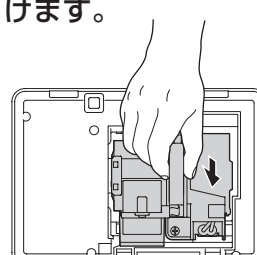
※ランプが冷えるまで待ちます(約1時間)。

2 ランプカバー開スイッチに交換用ランプに同梱のドライバを差し込んだままランプカバーを取り外します。

6 ランプ固定ねじをしっかり締めます。

7 ランプカバーを取り付けます。

ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、このカウンタを元にランプ交換のメッセージを表示します。

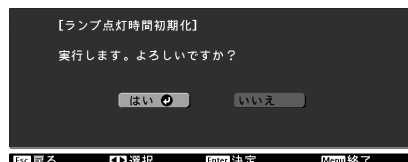
1 ⏻ を押して電源を入れます。

2 Menu を押して環境設定メニューを表示します。

3 古いエアーフィルタを取り外します。

4 新しいエアーフィルタを取り付けます。

5 エアーフィルタカバーを取り付けます。

3 ランプ固定ねじをゆるめます。

4 古いランプを取り出します。

まっすぐ引き抜きます。

5 新しいランプを取り付けます。

向きを合わせて押し込みます。

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

3 「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」を選択します。

4 「はい」を選択して Enter を押して実行します。

オプション・消耗品一覧

下記のオプション･消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション･消耗品類は2008年11月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ オプション品

80型スプリングローラー式スクリーン ELPSC15

巻き上げ式のスクリーンです。
(アスペクト▸16:9)

スクリーンスタンド ELPSCST01

80型スプリングローラー式スクリーン用のスタンドです。

天吊り金具※ ELPMB20

（天井プレート付き）
本機を天井に取り付けるときに使います。

パイプ600 (600mmホワイト)※ ELPFP07

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

ケーブルカバー(黒) ELPCC01B
ケーブルカバー(白) ELPCC01W

天吊り時に雑然としたケーブル類をきれいに包み隠し、スッキリとした外観となります。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

■ 消耗品

交換用ランプ ELPLP49

（ランプ1個、ドライバ1本）
使用済みランプと交換します。

エアーフィルタ ELPAF21

（エアーフィルタ1枚）
使用済みのエアーフィルタと交換します。

対応解像度一覧

出画率の設定により、値が少し異なります。

コンポーネントビデオ

4:3 16:9 :アスペクト　　単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
SDTV(480i, 60Hz)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(576i, 50Hz)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(480p)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(576p)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
HDTV(720p)16:9	1280×720	1920×1080 16:9	-	-	-
HDTV(1080i)16:9	1920×1080	1920×1080 16:9	-	-	-
HDTV(1080p)16:9	1920×1080	1920×1080 16:9	-	-	-

※レターボックス信号

コンポジットビデオ/S-ビデオ

4:3 16:9 :アスペクト　　単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
TV(NTSC)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
TV(PAL, SECAM)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9

※レターボックス信号

コンピュータ映像(アナログRGB)

単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
VGA 60	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
VESA72/75/85, iMac※1	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SVGA 56/60/72/75/85/, iMac※1	800×600 800×450※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
XGA 60/70/75/85, iMac※1	1024×768 1024×576※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
WXGA60-1	1280×768	1800×1080	1920×1080	1920×1080	-
WXGA60-2	1360×768	1912×1080	1920×1080	1920×1080	-
SXGA 60/70/75	1152×864	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
	1280×1024	1350×1080			-
	1280×960	1440×1080			1920×1080
MAC13"	640×480	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
MAC16"	832×624	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
MAC19"	1024×768	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
MAC21"	1152×870	1430×1080	1920×1080	1920×1080	-

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの入力信号

単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
VGA 60	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV (480i, 60Hz)	720×480 720×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV(480p)	720×480 720×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV(576i, 50Hz)	720×576 720×432※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV(576p)	720×576 720×432※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
HDTV (720p)	1280×720	1920×1080	-	-	-
HDTV(1080i)	1920×1080	1920×1080	-	-	-
HDTV(1080p)	1920×1080	1920×1080	-	-	-

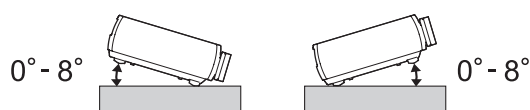
※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

仕様一覧

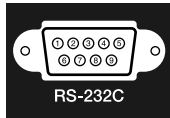
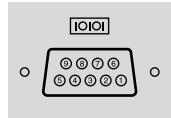
商品名		EH-TW4000	EH-TW3000
外形寸法		450(幅)×136(高さ)×360(奥行き)mm(フット含まず)	
パネルサイズ		0.74型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数		2,073,600個(横1920×縦1080)×3	
走査周波数(アナログ/デジタル)		ピクセルクロック:13.5～150MHz	
		水平:15～80kHz	
		垂直:24、50～85Hz	
フォーカス調整		手動	
ズーム調整		手動(約1:2.1)	
レンズシフト		手動(上下方向最大約96%、左右方向最大約47%)	
ランプ(光源)		UHEランプ　定格200W　型番:ELPLP49	
電源		100－240V AC±10%、50/60Hz、3.3-1.5A	100－240V AC±10%、50/60Hz、3.2-1.4A
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力:285W	定格消費電力:269W
		待機時消費電力:0.2W	
	220-240Vエリア	定格消費電力:299W	定格消費電力:281W
		待機時消費電力:0.4W	
動作高度		標高0～2286m	
動作温度範囲		＋5～＋35℃(結露しないこと)	
保存温度範囲		－10～＋60℃(結露しないこと)	
質量		約7.5kg	約7.3kg
接続端子		Component入力端子　1系統　3RCAピンジャック	
		PC入力端子　1系統　ミニD-sub 15pin(メス)青色	
		HDMI1 入力端子　1系統　HDMI	
		HDMI2 入力端子　1系統　HDMI	
		Video入力端子　1系統　RCAピンジャック	
		S-Video入力端子　1系統　ミニDIN 4pin	
		RS-232C端子　1系統　D-sub 9pin(オス)	
		Trigger out端子　1系統　3.5mmミニジャック	

本機にはPixelworks DNX™のIC が搭載されています。

■ 傾斜角度

8° 以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。

付録

■ RS-232Cケーブル配線

- コネクタ形状　　　　　　　：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　：RS-232C

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
HDMI はデジタル家電やコンピュータをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV

High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。
- 垂直解像度720p、1080i以上
（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査）
- 画面のアスペクトは16：9
- ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）

NTSC

National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL

Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SDTV

Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。

SECAM

SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

SVGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。

SXGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。

S-ビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
Y（輝度信号）C（色信号）の2つの独立した信号からできている映像をいいます。

VGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。

XGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。

YCbCr

現行のテレビ（NTSC方式）で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。
Y（輝度信号）CbCr（クロマ（色）信号）で表します。

YPbPr

ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y（輝度信号）PbPr（色差信号）で表します。

アスペクト

画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクトは4：3です。

インターレース

静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。

クールダウン

投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本機の電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は主電源スイッチを切らないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。クールダウン時間は、約16秒です。

コントラスト

色の明暗の差のことです。コントラストを強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりします。

コンポーネントビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
ハイビジョンにおいて、Y（輝度信号）、Pb、Pr（色差信号）の３つの独立した信号からできている映像をいいます。

コンポジットビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号（NTSC方式）です。
カラーバー信号の中の伝送用信号Y（輝度信号）とCbCr（クロマ（色）信号）からできている映像を言います。

盗難防止用ロック

プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7
（ナナヨービル）
Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

同期（Sync.）

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

プログレッシブ

1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。

リフレッシュレート

ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために１秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で設定します。

索引

数字・アルファベット

アイウエオ

ア

カ

サ

タ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者 (裏表紙参照) 以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本製品を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低 (瞬時電圧低下) 基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

x.v.Color はソニー株式会社の商標です。
IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Inc. の商標です。
Windows、WindowsNT、PowerPoint は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
HDMI と High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

EH-TW4000/EH-TW3000 取扱説明書

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-54-5800へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3　札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　050-3155-7150　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか?
●電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。
●映像が時々消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。
●電源コードが傷んだ。

ご使用中止
コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047　大阪市中央区淡路町3-6-3　NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！　http://myepson.jp/　▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス　http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料　0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

液晶プロジェクタ（H）　2007. 9

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in China
08.XX-.XA(G04)